



# 「たくましく、しなやかに生き抜く力」を育む 福島市立大笹生小学校

本校は「知・徳・体の調和のとれた人間の育成」を学校経営の基本としています。至誠の教えのもと「楽しく、厳しく、温かい学校」をめざす学校像として、教育目標の具現化に努めてまいります。子どもたちには「思いやり・親切」「勤勉・努力」「生命尊重」の心を重んじ、自分に自信をもち、他者との関わり合いの中で学び合い、夢や目標に向かってたくましく生きてほしいと願っています（向上心と自己有用感の育成）。  
 そのために、私たちは『確かな教育力を持つ教職員組織（チーム大笹生）』を目指し、保護者・地域の皆様と力を合わせ、自律と協働により教育活動の充実を図ってまいります。

## 【児童の願い】

- 楽しい学校・学級であってほしい。
- よく分かる、よくできるようになりたい。
- 友達と仲良く過ごし、助け合いたい。

## 【教職員の願い】

- 夢と目標に向かってしなやかにチャレンジし続ける子になってほしい。
- 物事を正しく判断し、よりよい方向に行動できる子になってほしい。
- 進んで考えを伝え、学び合って、考えを高める子になってほしい。
- 心身ともに健康で自分を振り返り、自分に自信をもち、友達の良さも認め合える、自己有用感が高い子になってほしい。

## 【めざす学校像】

楽しく、厳しく、温かい学校

## 【児童の実態】

- 素直で思いやりがある。
- 何事にも真面目に取り組み、係活動や清掃を行っている。
- 進んで活動することを苦手としている子が多い。

## 【地域の願い】

- あいさつのできる子どもを育ててほしい。
- 地域のよさを生かした教育をしてほしい。
- 安全に登下校できる環境づくりを進めてほしい。

## 【保護者の願い】

- 向上心の高い子になってほしい。
- 自分の思いを伝え合える子になってほしい。
- 勉強ができるようになってほしい。
- 自分から進んで行動できる子になってほしい。

## 【身につけさせたい資質・能力】

- 人、もの、こと、社会と適切にかかわる力
- たくましく、しなやかに生き抜く力

## — 教育目標 —

「至誠」を校訓として、自ら学び、心豊かにたくましく生きる 大笹生の子どもを育てる。  
 <進んで伝える子ども> <進んで関わる子ども> <進んで鍛える子ども>

## 【めざす教職員像】

- ◎ 学び合う教師集団、質の高い教職員集団
- 互いのよさを最大限に出し合う教職員集団
- 根底となる教育愛のある教職員
- 教育のプロとしての専門性のある教師
- 社会人としての常識がある教職員

## 【めざす児童像】

- <進んで伝える子ども>
  - 自分のよさを生かし、学び合う楽しさを実感しながら、進んで学習に取り組む子ども
- <進んで関わる子ども>
  - 相手の思いを大切に、感謝の心で人や環境と関わりながら、自分のよさを自覚し、夢や目標がもてる子ども
- <進んで鍛える子ども>
  - 運動に親しみ、健康・安全に気を付け、自分の目標に向かって粘り強く取り組む子ども

## 重点目標：「気づく 考える 実行する そして振り返る」子どもの育成

< 進んで伝える子ども >	< 進んで関わる子ども >	< 進んで鍛える子ども >
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 学んだことを活用して解決する学び方を身に付け、知的好奇心を持って進んで学習する子どもを育てます。</li> <li>◎ 話をよく聴き合い、自分の意見や考えを伝え合ったり、学習を振り返ったりできる子どもを育てます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 他者との関わりの中で、自分を振り返りながら、自分の存在を価値あるものとして受け止め、夢や目標がもてる子どもを育てます。</li> <li>◎ 相手の考えや気持ちに思いを寄せながら、みんなのために進んで行動することができる子どもを育てます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 命を大切にするために、考え・判断する力を育て、健康で安全な生活を送ることができる子どもを育てます。</li> <li>◎ 進んで運動に親しみ、自己の課題の解決に向けて、継続的に取り組む子どもを育てます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学んだことをもとに課題を解決する問題解決学習や「分かるできる授業（UD）」をめざし、学習意欲の向上と学習内容の定着に努める。 【現職教育部 担任】</li> <li>→ 各種学力テストの活用 ・教科横断的な学習</li> <li>→ ふくしま活用育成シートの活用</li> <li>→ 課題やめあての提示</li> <li>→ 知的好奇心を喚起する教材研究</li> <li>→ 学習の見通しの場の設定</li> <li>→ 考えの共有の場の設定 ・RSの活用</li> <li>→ 授業スタートの活用 ・TT指導</li> <li>○ 学校・家庭において、よりよい学習習慣を身に付けることができるようにする。 【現職教育部 担任】</li> <li>→ 家庭学習の約束 ・家庭学習カードの活用</li> <li>→ 家庭学習スタートの活用 ・ICT機器の活用</li> <li>→ 読書の習慣化（親子読書・家読）</li> <li>→ 基本的な学習習慣の育成（学習用具の準備 あいさつ 整理整頓）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳科や学級活動、生活科や総合的な学習の時間を通して、これまでの自分を振り返りながら生き方を考え、夢や目標をもてるようにする。 【各教科部 特別活動部 学校行事部 担任】</li> <li>→ 道徳科 ・総合的な学習の時間 ・生活科</li> <li>→ 外部講師の招聘 ・体験活動</li> <li>→ 学級活動(3)によるキャリア教育の充実</li> <li>→ 振り返りの場の設定</li> <li>→ 教師の意図的な働きかけ（意味づけ 価値付け）</li> <li>○ 子どもの考えを生かした学校行事や集会活動 児童会活動・学級活動を通して主体性を育てる 【プラスワン：課題解決の工夫】 【特別活動部 学校行事部 担任】</li> <li>→ 児童会活動 ・学校行事 ・学級活動</li> <li>→ 集会活動・大笹生タイム等縦割り班活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に生活したり、登下校したりするために、安全・防犯などの行事を通して考える場を設定し、知識を身に付け正しく判断できる力を育てる。 【学校行事部 安全部 担任】</li> <li>→ 避難訓練や交通教室 ・登校班活動</li> <li>○ 日常の継続的な指導や学級活動等を通して、自分を振り返りながら、基本的生活習慣や心身の健康の保持・増進、食に関する意識を高める。 【保健指導部 体育部 特別活動部 清掃部 担任】</li> <li>→ 保健指導の充実 ・健康の記録や自分手帳の活用</li> <li>→ 通信を通じた保護者への啓発</li> <li>→ 学級活動(2)朝の会や帰りの会での振り返り</li> <li>→ 清掃指導 ・学校保健委員会</li> <li>→ 感染症対策の徹底</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語科を礎として、聴き方・話し方を身に付けるようにすると共に、<b>思考を可視化する手立てを活用し、自分の考えを分かりやすく伝える力</b>を育てる。 【現職教育部 担任】</li> <li>→ 学年の系統を考えた聴き方・話し方の指導</li> <li>→ 各教科・特別活動等での言語活動の充実</li> <li>→ 思考の可視化（板書 ICT機器の活用 ノート 思考ツール等）</li> <li>○ 学んだことを振り返り、自分の考えの深まりや学び合ったことのよさを実感できるようにする。 【現職教育部 担任】</li> <li>→ 振り返りの場の設定（板書 ICT機器の活用 ノート等）</li> <li>→ <b>多様な考えを認め、引き出し、力とする指導</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳教育や学級活動で重点内容を設定し、教育活動を通して、自分の思いを伝え相手の気持ちを大切にすることを育てる。 【生徒指導部 道徳科 学級活動部 学校行事部 担任】</li> <li>→ 生徒指導の機能を生かした授業</li> <li>→ 学級活動・教育相談の充実 ・Q-UTESTの活用</li> <li>→ 道徳科・係活動の充実 ・勤労・奉仕的な活動</li> <li>→ 放射線教育や感染症対策との関わり</li> <li>○ 異年齢の集団活動や交流活動を通じた人や環境との関わりの中で、互いのよさを認めたり、地域のよさを味わったりできるようにする。 【大笹生タイム（縦割り班活動部） 生活部 総合部 特別活動部 担任】</li> <li>→ 学級活動 ・異年齢集団活動の充実</li> <li>→ 交流学習（大笹生支援学校・生愛会等）</li> <li>→ 生活科 ・総合的な学習の時間</li> <li>→ クラブ活動 ・児童会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生涯にわたって健康に生活するために、運動の楽しさを実感しながら、継続的に運動に親しむ態度を育てる。 【体育部 学校行事 児童会 担任】</li> <li>→ 体育科の授業での運動量の確保</li> <li>→ 学習カードの活用</li> <li>→ 楽しく遊ぶための環境づくり</li> <li>→ 時季に応じた業間活動 ・児童会集会活動</li> <li>→ 運動身体づくりプログラムの継続指導</li> <li>○ 自分が立てた目標を振り返る場を設け、目標達成に向かって粘り強く取り組めるようにする 【体育部 学級活動 担任】</li> <li>→ 学習カードと自分手帳の活用</li> <li>→ 時季に合わせた業間活動</li> <li>→ <b>繰り返しチャレンジするしなやかさの育成</b></li> </ul>

## 「ふるさと大笹生」を愛する子ども

### 【家庭との連携】

- 家庭学習の重要性を理解し、子どもとの語らいを大切にする保護者
- 言行一致を常とし、家庭や地域にあって、子どものお手本となるように努める保護者
- PTA等の組織の一員として、協力して活動し、人とのつながりを大切にする保護者